

Toshio Mori & Blue Coats Orchestra

森寿男 &
ブルーコーツ
オーケストラ

スペシャルゲスト
北村英治 & フライン'キャブ



藝文友の会会員ふれあい催事

期日 ● 平成28年 6月9日(木) 開場18:00 開演18:30

会場 ● ひたちなか市文化会館

主催 ● 公益^{財団}常陽藝文センター

整理券

Program

Moon Light Serenade	ムーンライト・セレナーデ
In The Mood	イン・ザ・ムード
Memories of You	メモリーズ オブ ユー
Let's Dance	レッツダンス
Stardust	スターダスト
Sing Sing Sing	シング・シング・シング
Take The A Train	A列車で行こう
Lullaby in Ragtime~Five Pennies	ラグタイムの子守唄~五つの銅貨
Its' Done Mean A Thing	スイングしなけりゃ意味が無い
Caravan	キャラバン
	ほか

☆曲名・曲順が変更になる場合もございますので、ご了承願います。 ☆公演時間は休憩を含む概ね120分間の予定です。

Profile

森寿男 & ブルーコーツオーケストラ

Toshio Mori & Blue Coats Orchestra

現在活躍中のビッグバンドの中で、最も永い歴史を刻んでいるブルーコーツの原点は、1935年当時の大学生によって作られたバンドが母体となっている。

1946年 戦後間もなくジャズ好きの六大学OBによって再結成された「スイング・オルフェアンズ」は1949年「ブルーコーツオーケストラ」と名を改め 現在まで脈々と永い歴史と伝統を刻んでいる。

その伝統には上品でアカデミックなサウンドが受け継がれていて、黛 敏郎・笈田敏夫・秋吉敏子等、数多くの有名な音楽家を輩出している。

1970年 芸大出身の 森寿男が3代目リーダーを引き継ぎ、その伝統を継承すると共に、カウント・ベーシー、デューク・エリントンの精神とフィーリングを追求し、人の心に響くサウンド作りを目標に、新発足する。

1995年6月、グレン・ミラーの生誕地(アメリカ・

アイオワ州クラリダ) で開催された【グレン・ミラー フェスティバル】に招聘され渡米、現地の熱烈な歓迎を受け絶賛を博した。

2004年1月リーダーの森寿男が、ジャズ界の大賞と言われる 南里文雄賞を受賞。

それを記念してブルーコーツの長い歴史をまとめた【ジャズに情熱をかけた男たち /ブルーコーツ70年】(瀬川昌久氏著)の本が出版された。

2010年11月【ブルーコーツ結成65年・森寿男 & ブルーコーツ40周年記念リサイタル】を日比谷公会堂で開催。同時に「65th ANNIVERSARY スイングしなけりゃ意味がない！」の記念アルバムも発売され注目を集めた。

2015年 結成70年を迎えた現在のブルーコーツは、全国各地のジャズコンサートを始め、学校公演やファミリーコンサート等、少年からシニア層まで幅広いジャンルで、ビッグ・バンド・ジャズの王道を行く演奏を展開している。

森寿男 & ブルーコーツオーケストラ

Conductor : 森 寿男

Trumpet : 羽毛田 耕士 上石 統 篠原 国利 谷殿 明良

Trombone : 岩崎 敏信 内田 日富 小林 稔 渡辺 亮

Alto Sax : 今野 菊治 菊地 武

Tenor Sax : 田辺 信男 内山 正博

Baritone Sax : 五十井 梧楼

Piano : 池野 美音

Bass : 小高 正志

Drums : 阿野 次男



北村 英治
Eiji Kitamura
(Clarinet)

1929年東京都生まれ。
慶応大学在学中にクラリネットを学び、
1951年南部三郎クインテットでプロデビュー。
1954年に自己のバンドを結成し、以来国内外でのコンサート、ディナー
ショー、ラジオ・テレビ出演等、幅広い演奏活動を行っている。
デキシーからモダンシングまでをこなし、クラシック曲にも挑戦す
るなど前進を止めない。演奏会では木管の暖かく深みのある音色と独
特のフレーズで、聴衆の心を豊かに満たし、曲間のお喋りでも大いに
楽しませてくれる。1977年モンタレージャズ祭(米国)に招かれ大好
評を博し、以来アメリカはもとより、ヨーロッパ、オーストラリア等
の大ジャズ祭に数多く出演し、世界的ジャズクラリネット奏者として
活躍している。
2007年4月 旭日小綬章受章



堀江 真美

佐藤 マサノリ

フライン'キャブ
Flyin' Cab
(Duet)

1980年代に活躍、戦後のナイトクラブ時代を
もっとも色濃く継承したおしゃれでユニークな
本格派デュエット。
それぞれがソロシンガーとして実力派。
そのアドリブ能力の高さや多彩な音楽性で人気
を博す。
スイングの名曲はもとよりバップスキャット、
ジャイブナンバーなどがクラブシーンを賑わ
す。
平成期に入り佐藤は音楽プロデューサーとして
手腕を発揮。
堀江は作編曲ピアニストとして映画、放送界音
楽番組で卓越した個性で活躍、多くのヒット曲
に関わる。
2010年のブルーコーツ65周年記念アルバム制
作プロデュースをまかされた佐藤マサノリがバ
ンドシンガーとして復帰と同時にデュエット
Flyin' Cabも再開。
20世紀ジャズ黄金時代の再興を目指している。